

水難事故のあらまし

～平成24年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

目 次

第1	水難事故の発生状況	
1	概況	1
2	過去10年間の発生状況	2
3	月別発生状況	3
4	場所別発生状況	4
5	態様別発生状況	5
6	曜日別発生状況	6
7	原因別発生状況	6
8	年齢別発生状況	7
9	子ども（中学生以下）の水難事故発生状況	8
10	高齢者の水難事故発生状況	9
11	居住地別事故者数	10
第2	水難救助活動の状況	
1	出動状況	10
2	救助事例	11
3	水難救助訓練実施状況	11
4	小型船舶操縦士の養成	12
第3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策	12
2	水難事故防止広報活動	13

表 紙 写 真
飛驒市古川町地内「宮川」における合同水難救助訓練
(平成24年7月撮影)

第1 水難事故の発生状況

1 概況

[平成24年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生34件（前年比－5件）、事故者35人（前年比－10人）

[事故者の内訳]

- ・ 死亡 22人（前年比－4人）
- ・ 行方不明 0人（前年比±0人）
- ・ 負傷 3人（前年比＋2人）
- ・ 無事救助 10人（前年比－8人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数、事故者数ともに減少
- 全体の85%（29件）が河川で発生、うち31%（9件）が長良川で発生
- 全体の88%（30件）が7～9月の3か月間に発生
- 魚釣り・魚取り中の事故が最多（13件）
- 70歳以上の高齢者の事故が多発（11件、うち10件が死亡）
- 子ども（中学生以下）の事故が増加（6件、前年比＋4件）

水難事故の発生状況（前年比）

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数（人）					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成24年	34	35	22	0	2	1	10
平成23年	39	45	26	0	0	1	18
増減	－5	－10	－4	±0	＋2	±0	－8



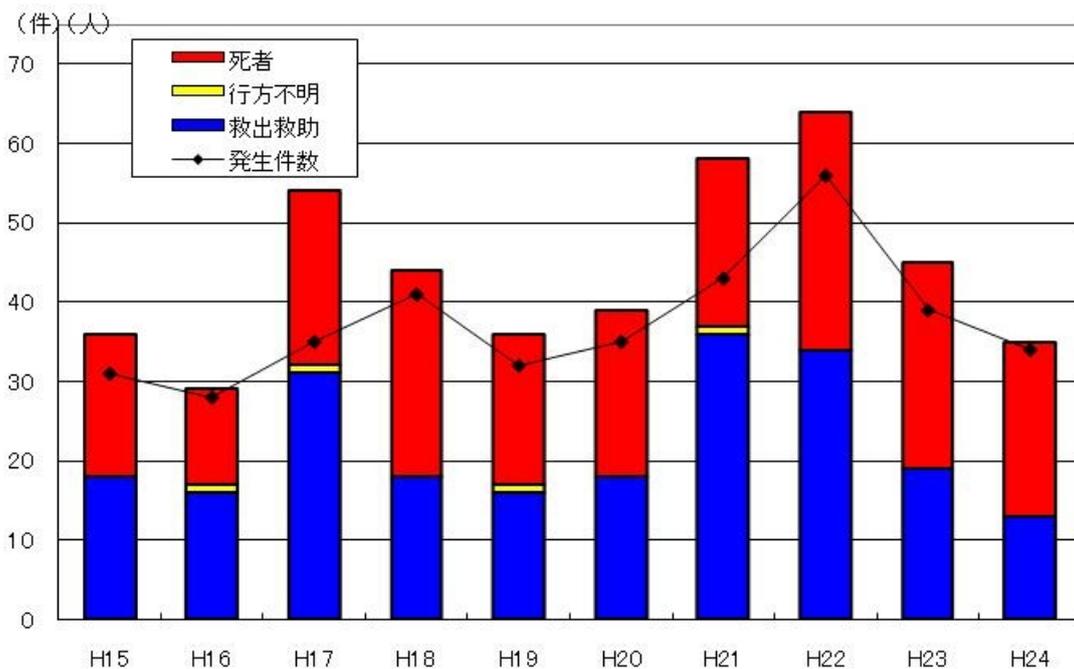
救命浮環投てき訓練

2 過去10年間の発生状況

- 4年振りに減少した平成23年から、平成24年は更に発生件数、事故者数ともに減少した。

[過去10年間の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数 (人)			
			死者	行方不明	救出救助	
平成15年		31	36	18		18
平成16年		28	29	12	1	16
平成17年		35	54	22	1	31
平成18年		41	44	26		18
平成19年		32	36	19	1	16
平成20年		35	39	21		18
平成21年		43	58	21	1	36
平成22年		56	64	30		34
平成23年		39	45	26		19
平成24年		34	35	22		13

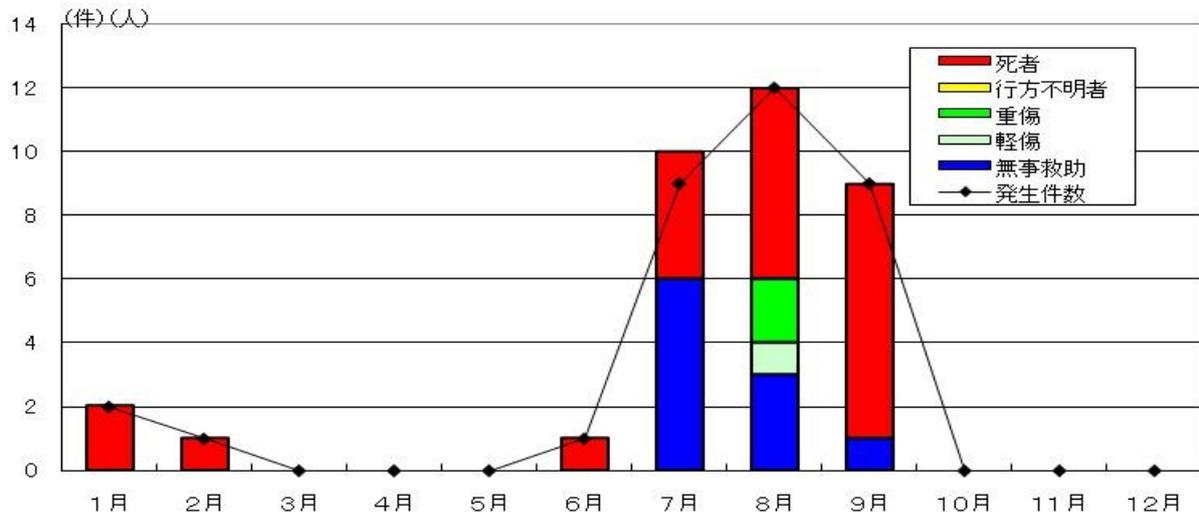


3 月別発生状況

- 7月～9月の3か月間に全体の88%に当たる30件（前年比+5件）の事故が発生した。
- 9月だけを見ると、9件9人（前年比+6件、+6人）の発生で、うち死亡8人（前年比+7人）で大幅に増加した。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者数 (人)					
		死者	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
1月	2	2	2				
2月	1	1	1				
3月	0	0					
4月	0	0					
5月	0	0					
6月	1	1	1				
7月	9	10	4				6
8月	12	12	6		2	1	3
9月	9	9	8				1
10月	0	0					
11月	0	0					
12月	0	0					
合計	34	35	22	0	2	1	10

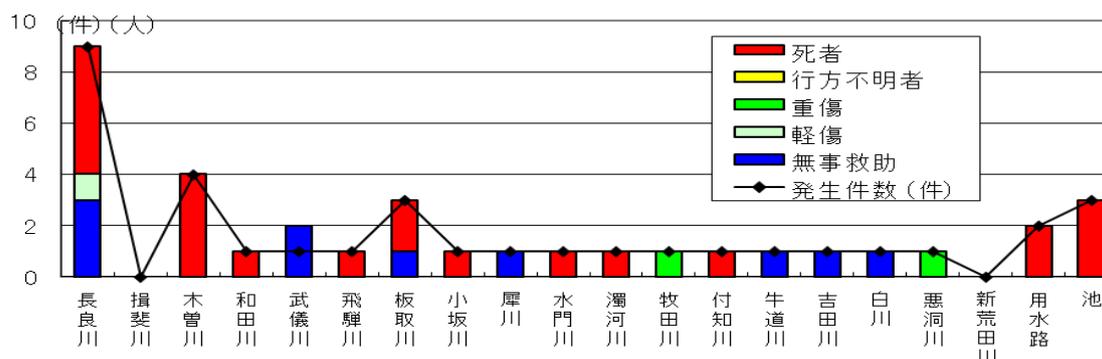


4 場所別発生状況

- 河川での事故が最も多く、全体の85%に当たる29件（前年比-6件）が発生し、事故者数の内訳は、死亡17人（前年比-5人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助10人（前年比-9人）であった。
- 河川別では、長良川での発生が9件（前年比-3件）、事故者数の内訳は、死亡5人（前年比-3人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助4人（前年比±0人）で最も多く、次いで木曾川での発生が4件（前年比±0件）、うち死亡4人（前年比+1件）であった。

[場所別発生状況]

区分 場所別	発生件数 (件)	事故者数 (人)					
			死者	行方不明	救出救助		
					重傷	軽傷	無事救助
河川	29	30	17		2	1	10
長良川	9	9	5			1	3
揖斐川	0	0					
木曾川	4	4	4				
和田川	1	1	1				
武儀川	1	2					2
飛騨川	1	1	1				
板取川	3	3	2				1
小坂川	1	1	1				
犀川	1	1					1
水門川	1	1	1				
濁河川	1	1	1				
牧田川	1	1			1		
付知川	1	1	1				
牛道川	1	1					1
吉田川	1	1					1
白川	1	1					1
悪洞川	1	1			1		
用水路	2	2	2				
池	3	3	3				
合計	34	35	22		2	1	10

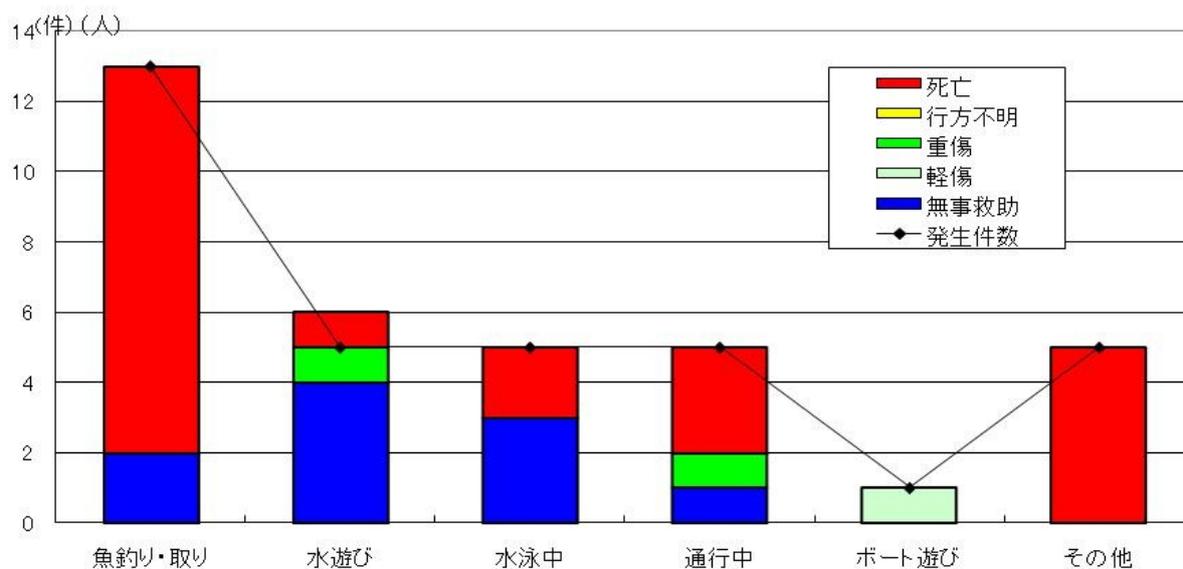


5 態様別発生状況

- 魚釣り・取り中の事故が、前年に引き続き最も多く、全体の38%に当たる13件（前年比－1件）発生し、事故者13人のうち死亡が11人（前年比±0人）であった。

[態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数 (人)					
			死亡	行方不明	救出救助		
					重傷	軽傷	無事救助
魚釣り・取り	13	13	11				2
水遊び	5	6	1		1		4
水泳中	5	5	2				3
通行中	5	5	3		1		1
ボート遊び	1	1				1	
その他	5	5	5				
合計	34	35	22		2	1	10

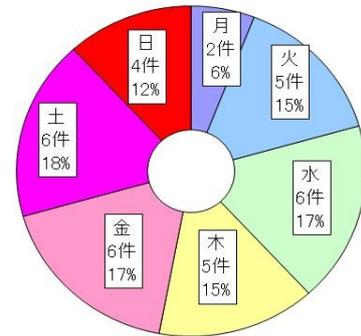


(注) その他は、陸上で遊戯中、作業中に落水 など

6 曜日別発生状況

- 土曜日、日曜日に発生した事故は合わせて10件となっており、全体の30%を占めている。
- 平成24年は、平日においても各曜日平均して発生している。

[曜日別発生状況]

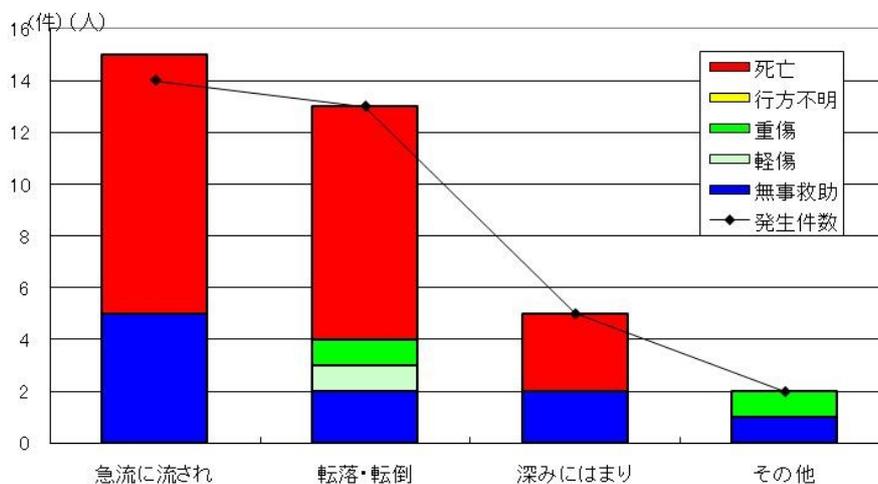


7 原因別発生状況

- 急流に流される事故の発生が14件（前年比-3件）と全体の41%を占めており、次に転落・転倒による事故の発生が13件（前年比+1件）と全体の38%を占めている。
- 遊泳時又は魚釣り中に、急流に流される事故や岩場等から転落する事故が目立っている。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
急流に流され	14	15	10				5
転落・転倒	13	13	9		1	1	2
深みにはまり	5	5	3				2
その他	2	2			1		1
合計	34	35	22		2	1	10

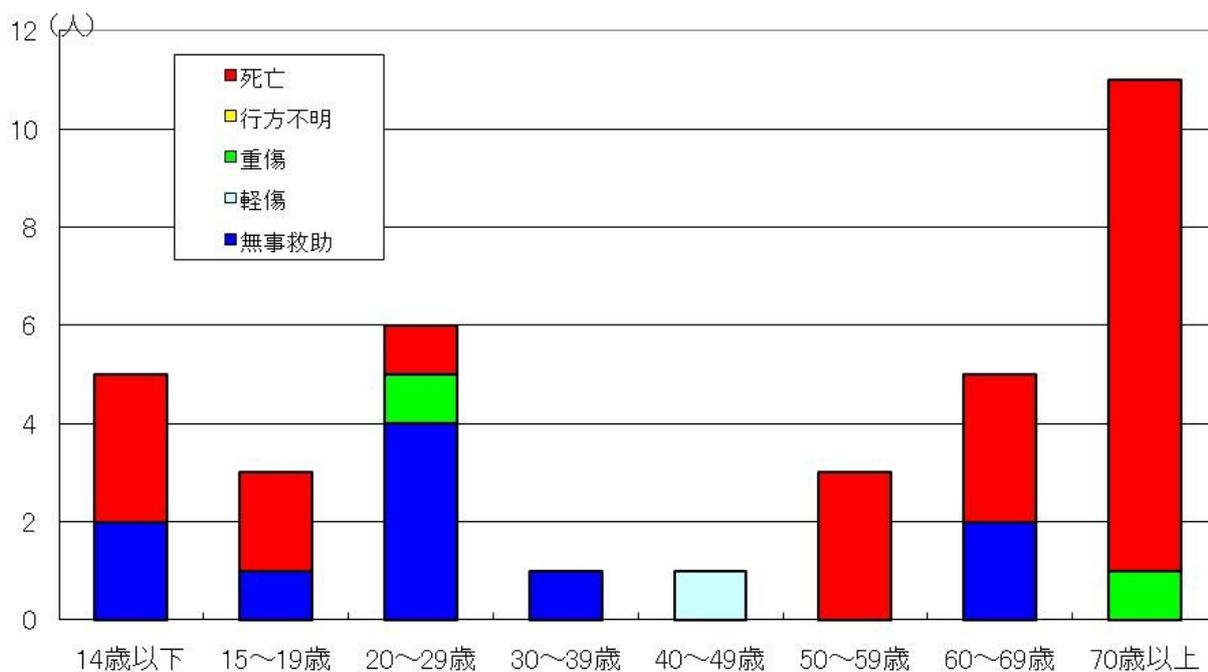


8 年齢別発生状況

- 70歳以上の事故が11人（前年比+2人）と最も多く、全体の31%を占めている。また死亡者も10人（前年比+2人）で前年より増加している。
- 20～29歳が6人（前年比-11人）で、前年と比較し事故者数が大幅に減っているが、全体の17%を占めており、依然として20歳代の事故も目立つ。

[年齢別発生状況]

区分 年齢別	事故者数（人）					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	5	3				2
15～19歳	3	2				1
20～29歳	6	1		1		4
30～39歳	1					1
40～49歳	1				1	
50～59歳	3	3				
60～69歳	5	3				2
70歳以上	11	10		1		
合計	35	22		2	1	10



9 子ども（中学生以下）の水難事故発生状況

- 子どもの事故は、発生が6件（前年比+4件）、事故者数が6人（前年比+4人）であった。
- 事故者の内訳は、幼児が3人（前年比+2人）、小学生が2人（前年比+2人）、中学生が1人（前年比±0人）となっている。

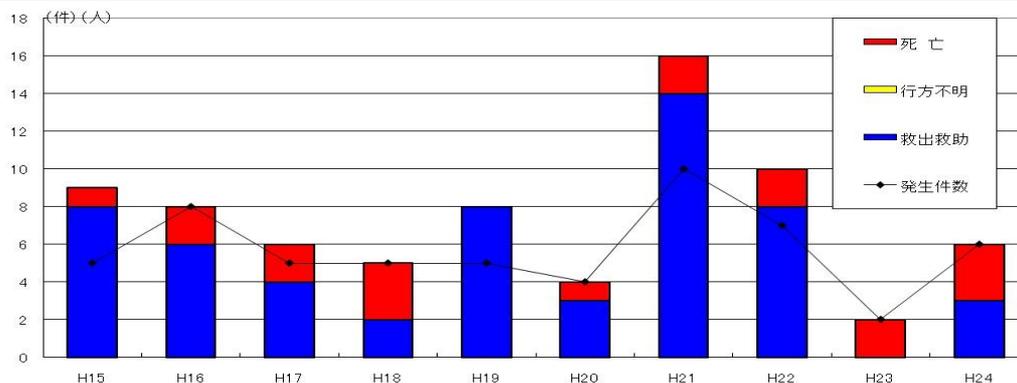
[子どもの態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者数 (人)		
			死亡	行方不明	救出救助
水遊び中		2	2		2
その他		4	4	3	1
合計		6	6	3	3

(注) その他は、陸上での遊戯中の落水等

[子どもの過去10年間の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数 (人)		
			死亡	行方不明	救出救助
平成15年		5	9	1	8
平成16年		8	8	2	6
平成17年		5	6	2	4
平成18年		5	5	3	2
平成19年		5	8		8
平成20年		4	4	1	3
平成21年		10	16	2	14
平成22年		7	10	2	8
平成23年		2	2	2	
平成24年		6	6	3	3

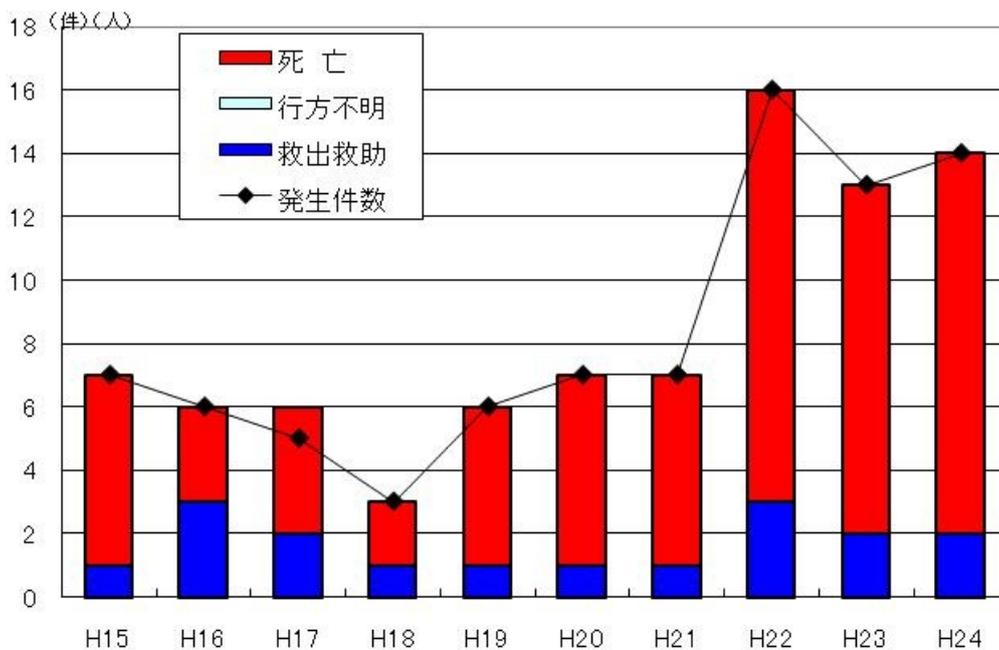


10 高齢者の水難事故発生状況

- 高齢者（65歳以上）の事故は、発生が14件（前年比+1件）、事故者数が14人（前年比+1人）、うち死亡12人（前年比+1人）でいずれも増加した。
- 事故原因については、14件中、8件が魚釣り（アユ釣り）中の事故であった。

[高齢者の過去10年間の水難事故発生状況]

年別 区分	発生件数 (件)	事故者数 (人)		
		死 亡	行方不明	救出救助
平成15年	7	7	6	1
平成16年	6	6	3	3
平成17年	5	6	4	2
平成18年	3	3	2	1
平成19年	6	6	5	1
平成20年	7	7	6	1
平成21年	7	7	6	1
平成22年	16	16	13	3
平成23年	13	13	11	2
平成24年	14	14	12	2



11 居住地別事故者数

- 事故者のうち、岐阜県居住者が20人（前年比+2人）と最も多く、次いで愛知県居住者が10人（前年比-12人）であった。

[居住地別事故者数]

区分 県別	事故者数（人）					
		死者	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
山梨県	1	1				
静岡県	1					1
岐阜県	20	15		2		3
愛知県	10	4			1	5
三重県	1					1
滋賀県	1	1				
不明	1	1				
合計	35	22		2	1	10

第2 水難救助活動の状況

1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ449人、消防署（団）員が延べ624人出動した。
- 県警及び県防災のヘリコプターが、10件の事故に対し延べ12回、警察・消防等の舟艇が、11件の事故に対し延べ39回出動した。

区分 年別	発生件数 (件)	出動状況（人）		ヘリ出動		舟艇出動	
		警察官	消防	件数	回数	件数	回数
平成24年	34	449	624	10	12	11	39
平成23年	39	503	941	18	22	13	23
増減	-5	-54	-317	-8	-10	-2	+16

2 救助事例

日時	場所	状況
7月22日 (日)	瑞穂市 犀川	男児が川岸から足を滑らせ川の中に転落したのを下流で釣りをしていた男子大学生が目撃、川の中へ飛び込み、パニックで暴れる男児に適切な声かけと気道確保措置を行うなどして救助したもの。
8月21日 (火)	郡上市 吉田川	男性が川で遊泳中に浮き輪が外れたことにより急流に流され溺れていたのを、他の遊泳客が救助、人工呼吸を施したところ、蘇生したもの。

(注) 水難事故発生時には、人工呼吸を一刻も早く実施することが、蘇生する確率を向上させる。

3 水難救助訓練実施状況

県内には、長良川、木曾川、揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。各警察署では、水難事故に対して迅速的確な救助活動を行うため、警察署独自又は消防機関や県防災航空隊、警察航空隊と合同で水難救助訓練を実施している。



AED訓練



警察航空隊との合同訓練

4 小型船舶操縦士の養成

警察における舟艇操縦資格者の拡大を図るため、水難救助用の小型船舶が配備されている警察署や事故者の捜索等に当たる機動隊の警察官を対象に「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

第3 その他

1 水上バイク等の事故防止対策

- レジャーの多様化、アウトドアスポーツの普及により、河川の利用環境は変化してきており、遊泳者や釣り人等の第三者を巻き込んだレジャー事故の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、広報啓発用看板の設置や河川のパトロールを実施するなどの活動を推進している。
- 平成22年から平成23年に県下において水上バイク等による事故は発生していなかったが、平成24年は、水上バイクを前方不注視で運転したことにより、他の水上バイクに牽引されていたゴムボートと衝突し、ゴムボートに乗っていた仲間が負傷した事故が1件発生している。

[過去の水上バイク等の事故発生状況]

区分 年別	発生件数 (件)	事 故 者 総 数 (人)			
		死 亡	負 傷	救出救助	
平成20年	3	7	2	5	
平成21年	2	2	1		
平成22年	0	0			
平成23年	0	0			
平成24年	1	1	1		

2 水難事故防止広報活動

- 県下の警察署では、6～8月の夏期に、関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、遊泳者、水上バイク利用者、釣り人などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報誌や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 岐阜中・岐阜北警察署では、8月26日にNPO法人長良川環境レンジャー協会員らとともに長良川のより安全で快適な河川利用を図るため、河川利用者（水上バイク、バーベキュー、キャンプ、水遊び、水泳など）に対し、マナー向上のための広報啓発を行った。



河川利用者に対する広報（長良川）

- 加茂警察署では、加茂郡内の自治体が設置する「飛騨川下流域水上安全・環境保全連絡協議会」が作成した水難事故防止チラシを同郡内4町村の小・中学校、保育園の児童生徒、園児及び教職員に対し配布し、夏休みにおける水難事故防止を指導した。



加茂署が配布したチラシ

- 郡上警察署では、「郡上市水上安全環境保全連絡協議会」が作成した広報用のティッシュ及びクリアファイルを釣り客や管内の小学校及び関係機関に配布し、水難事故防止を呼びかけた。

また、鮎漁解禁日の6月10日には、郡上漁協や郡上土木等の関係者とともに長良川、吉田川において釣り客に対し、水難事故防止や車上ねらい等の被害防止を呼びかける水上安全パトロールを実施した。



水上安全パトロール（吉田川）



郡上署が配布したティッシュとクリアファイル

